

環境学習推進員の
三浦順子が
担当しました!

すわ公園交流館 新聞エコバッグ作り講座

平成27年 9月17日(木)



これが出来上がりです。
これをイメージして
さあ!はじめましょう!



もっとも使いやすい大きさで
エコバッグの基本形を作ります。



折り紙を折るようには
しかないなあ〜。

折って開いて、また折って…が
続くので、間違わないように!



新聞紙で作ったとは思えないほど丈夫です。

表面には英字新聞のほか、
美しい風景写真やイラストなどの
広告もびっぴりです。

センターでも、県内各地へのお出前でも、 どちらでも開催可能です!

社会見学の時に、あるいは学校の授業、市民団体の
学習会、公民館の講座、企業の環境学習に「環境・体
験講座」をご利用ください。

「新聞エコバッグ作り」講座

時 間 2時間程度

人 数 20人程度

対 象 18歳以上

四日市市にある、すわ公園交流館で「新聞エコバッグ作り」講座をしました。私たちの生活に、紙はなくてはならないものです。日本人は1日ひとりあたり、A4サイズで約120枚分の紙を使っています。トイレットペーパー、コピー紙、新聞、ノート、チラシ等々、挙げればきりがありません。そんな中でも、新聞はたまる一方で、ただ資源ごみに出すだけと思っている方も多いと思いますが、実はこんなオシャレなバッグができます。新聞紙1枚では薄くて弱いですが、4枚・5枚と重ねて厚い紙にすると丈夫で

独特の素材の紙に変身します。今回は表面に英字新聞を使用しましたが、日本の新聞でも美しい風景写真やイラストの広告をとっておき、紙面そのものをデザインとして活用すると、とても面白いバッグが出来上がります。ポイントは、折り目をしっかりとつけて、形を整えること。(ビンの底を使うと折り目をつけやすいです。)のりは端まできつちりつけること。持ち手はアクリルセメントになる部分なので、形や全体のデザインを考えると、合った色を見せるようにすると、より素敵になると思います。参加されたみなさんは、はじめは慣

れない手つきでしたが、やっていくうちにコツをつかんだようでした。何度か作っていくうちに自分なりのアレンジが出来るようになってきます。何をに入れるか、誰にプレゼントするか、そんなことを考えながら作っていくと楽しみながら覚えられるのではないのでしょうか。ぜひ、身近にある新聞紙の活用から、紙のあり方、使い方、捨て方などを振り返りつつ作ってもらえればと思います。なお、この講座は地域・職場での研修や、公民館などでもご利用いただけます。

【報告】環境学習推進員 三浦順子

環境・体験講座

水質チェック、買い物ゲーム、大気調査講座、ごみ・リサイクル講座、地球温暖化と省エネルギー講座、ふるしき活用講座、紙すき体験、自然体験(自然観察、バードウォッチング、水生生物調査)、天文講座、エコソング「うたおう&おどろう」など

©講座の内容や対象については、環境学習情報センター Tel (059)329-2000までお問合せください。お申込みは原則、希望日の1か月前までをお願いします。